

今月は「探検ごっこ」というあそびです。

私はよく姉と幼馴染の2人の4人でよく探検ごっこをして遊んでいました。2人組になり、北の方向、南の方向に分かれて、自由に歩いて探検をするあそびです。ルールは1つ。必ず、新しい発見を見つけること。探検で新しい公園やパン屋さん、おもしろい銅像を見つれたり、とても楽しかったのを覚えています。その時うらやましかったことが1つありました。その日も2人組になって探検に行き、新しい発見を見つけて帰宅すると、姉たちのグループがりんごの風船を持っていました。バルーン屋さんを見つけて、店内に入ったらお店の人がくれたと言っていました。私はその風船がどうしても欲しくて、今度は4人でバルーン屋さんに行き、私たちりんごの風船をもらいました。とても楽しかったのを覚えています。今は、こどもだけで探検というのは難しい時代ですが、今となっては私にとって楽しいあそびでした。

小竹森尚実

ほし組 お泊り保育

日程 11月10日(木)～11日(金)

3年ぶりに実施することができたお泊り保育。いちよの森に泊まりました。磐山登山やさくらんぼ保育園との2園交流を楽しみ、少し不安だった気持ちも「みんなと一緒に楽しい」と感じているのが表情で見取れました。初めてのお泊りで身も心も少し大きくなったこどもたちです。



…バナナ生長日記…

ついに開きました。アケビバナナです。実は、今年はまだ無理かなと思い、苗を頂いた所の実を分けてもらい味見をしていました。



「バナナのあじがする!」「たねがある」と喜びや戸惑いなど様々で、見ていて楽しかったです。実のついた茎は枯れるとのことですが、次々新たな芽が出ています。冬は霜が降りると葉は枯れるようですが、もみ殻で根を保護する冬支度をこれから始めます。

「できるようになるまで」

黄色になったイチヨウの木も葉っぱが散り、本格的に冷える時期になりました。そんな中でも、外に出るとこどもたちは元気に遊んでいます。

最近、にし組のこどもたちの中でブームなのが泥だんご作りです。外に遊びに行く準備をしている段階で”今日は何をして遊ぶのか”を決めているこどもたち。靴を履きながら「〇〇ちゃん、いっしょにどろだんごつくろう」と話しかけていました。いざ外に行き、泥だんごをしようとすると土が固くてできません。「これはみずがいるな、じょうろをもってこんと」とこどもたちで考えて行動していました。そして柔らかくなった泥でだんごを作っています。最初丸くするのに苦戦していたこどもたち。職員と一緒に作りながらどうしたらきれいに丸くできるのかを見ているようでした。自分で作っては壊し納得がいくまで何度も繰り返していました。そして日を重ねるごとに丸く作るのがとても上手になっています。と出来上がった泥だんごを見せながら「みて!めっちゃきれいにできとるじゃろ!」言っていました。「ほんとだ、きれいにできてるね」と言われるとにんまり顔。すると、それを見ていた他の子ども「みてみて」と持ってくるようになりました。

何かができるようになったことは誰かと共有したいものです。少し前までできなかったこともいつの間にかできるようになっていることもたくさんあります。日々の忙しい中では見落としてしまいそうな小さなことでもできるようになった喜びをこどもたちと一緒に感じたいと思います。

鈴木 美夕



「ほうれん草が大きくなりますように。」と、水やりをしました。とても大きくなり、収穫できそうです。

12月

- 3(土) 発表会
- 5(月)～9(金) 希望者個別懇談
- 8(木) やきいも
- 19(月) 避難訓練
- 23(金) 誕生会
1号終業式
- 26(月)～1/6(金) 1号冬休み
- 29(木)～1/3(火) 年末年始休園



1月

- 12/29(木)～3(火) 年末年始休園
- 12/26(月)～6(金) 1号冬休み
- 10(火) 1号始業式
- 12(木) もちつき
- 13(金) 誕生会/とんど
- 26(月) 避難訓練



こんなものを作りました

ぞら組

発表会の劇「かさじぞう」に使う背景や小物を自分たちで作っています。絵本を見て「昔の人の暮らしはどんなだったかな？」と調べ、家の中の様子や食べていたものを知る機会になりました。

みんなで協力して劇を作り上げる楽しさがどんどん大きくなり、当日、披露することへの期待感が膨らんでいます。



にし組

11月の製作で『いちょうの木』を作りました。9月から製作の際にははさみを使っています。はさみで切った紙を葉っぱに見立てて、木の周りに貼っていきました。すると下の方にも貼っている子がいたので「上に貼らないの？」と聞くと「落ちてる葉っぱもあるから」と答えが返ってきて、普段の生活の中でよく見ているのだと感心しました。



ほし組

発表会に向けて楽しんでいる劇あそび『ミレドーさんちのこびとたち』で使う大きな太鼓の背景をみんなで描きました。太鼓は、物語の一番重要なアイテムです。大人が描いた下書きを見ながら赤と白の絵の具で色を塗りました。筆を使って、白い部分が見えないように丁寧に。みんなで作った大きな太鼓は、こどもの身体が隠れるほど迫力のあるものになりました。発表会では、その太鼓からでてくる可愛いこどもたちが見どころです。



ゆき組

11月の製作は『みのむし』を作りました。折り紙をちぎってトイレットペーパーの芯に貼るのですが“ちぎる”ということが難しいようでかっぱい引きちぎろうとします。保育者がやって見せたり、少し切り込みを入れたりすると自分でちぎれるようになりました。大人にとっては簡単な作業も初めて経験することもたちにとっては難しいことです。いろいろなことを経験して、あそびだけでなく生活の力にもなればといいなと思います



つき組

クリスマスが近づいてきているのでクリスマスリースを作りました。どんぐりや松ぼっくりを台紙にボンドをつけています。最後の仕上げに毛糸でぐるっと飾ると完成です。自分で考えた配置や表現の仕方がきれいに出て見応えがあります。作るときにも真剣な表情で一つひとつ並べて作っていました。できたものを友だち同士で見せ合い、「OOくんのいいね。」「どんぐりたくさんだね。」と話し合っています。



はな組

どんぐりの製作をしました。どんぐりの顔には、目の裏に両面テープをつけて、自分たちで目を貼ります。しかし、貼ろうとするも指先からテープが中々剥がれず、苦戦しながらもやっと貼り終えた時は、嬉しそうに拍手をしたり笑顔になったりしていました。これらの、シール貼りは指先の発達を促しながら、何かに取り組む集中力を育むことができます。これからも、日々の活動に取り入れ、こどもたちの成長に繋がればいいなと思います。

